

看護いばらき

No.115

2017年1月18日



公益社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association



CONTENTS

- ❖ 2 新年のあいさつ
- ❖ 4 酉年～年男・年女あつまれ～
- ❖ 5 認知症患者の理解と看護研修報告
- ❖ 6 看護実務者研修報告—高齢者権利擁護推進研修—
- ❖ 7 そよかぜ 私の専門～慢性呼吸器疾患看護認定看護師～
- ❖ 8 医療・介護連携推進人材養成事業
- ❖ 9 看護師のクリニカルリーダー研修
- ❖ 9 看護師の特定行為研修
- ❖ 10 地域包括ケア推進に関する研修会
- ❖ 11 平成29年度改選役員、推薦委員及び平成30年度日本看護協会
代議員・予備代議員への立候補について
- ❖ 12 看護研修センターに来館される皆様へ
- ❖ 12 平成 28 年度理事会報告

会員数(平成28年12月12日現在)

合計 **14,217**人

保健師 383人

助産師 493人

看護師 12,183人

准看護師 1,158人



酉年 新年のご挨拶



公益社団法人 茨城県看護協会
会長 相川 三保子

「看護がつなぎ・見える地域包括ケアを目指して」

年頭にあたりごあいさつ申し上げます。

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかに、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。一方、職場や訪問先等で新年と仕事始めを同時にお迎えの方々、こころより敬意と感謝を申し上げます。

平成28年度掲げ取り組んだ4つの重点事業（①少子超高齢社会に対応する人材育成、②健康で安全に働き続けられる労働環境改善の推進、③地域包括ケア体制の構築と推進、④組織力強化）も終盤に入りました。少子超高齢社会が急速に進展する中で、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、人生の最期を迎えることが出来るよう、支援することこそ看護職の大きな役割と考えます。

地域医療構想が形となり、医療・介護サービス提供体制が病院完結型から地域完結型へと本格的に起動いたします。在宅医療の体制で、【退院調整・支援】、【日常の療養支援】、【急変時の対応】、【看取り】等どの局面においても看護職が担う役割は重要になって参ります。ただ、それを担う人材の確保が急務となっています。

今、茨城県の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業者数は、29,470名で人口10万対比では全国42位となっております。離職した看護職の届出制度がスタートし、切れ目のない就業・キャリア支援も実施しております。是非看護協会ナースセンター・ナースバンクにお届け下さい。そして一緒に看護の担い手として力を提供して下さいを願っております。

今年度の「訪問看護サミット」のテーマは、『訪問看護の見える化』でした。サービスの提供を受けた人々、ご家族が望むケアだったのか。そのことを問うものでした。地域医療を担う中、社会からの役割期待にどのように応えていけるのか、真価が問われる時と考えます。

少子超高齢社会を看護職としてどう支えていけるかその一翼を担えるよう、14,190名の会員の看護力を結集し、他団体、多職種の方々と連携を強化しながら、しっかり課題に取り組んで参ります。

皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

酉年の本年が皆様にとって良き年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。



「看護の力をカタチに」

専務理事 白川 洋子

2017年を迎え、「看護のこころ」をあらためて問い直したい気持ちでいるのは私だけでしょうか。

目まぐるしく変化する世界で、日本で、茨城県で人々が「その人らしく生きて、暮らして、最期を迎える」ことに看護職の果たす役割は重要で尊いものであることを強く感じています。看護職はひとの営みを近視眼的に捉えることを得意としています。今まさにこの力を発揮していく時期ではないでしょうか。

保健、医療、福祉制度は、これまでの疾病や障がいの治癒・回復を目的とする「医療モデル」優先から、生活の質に焦点を当て、疾病や障がいがあっても、地域で自立してその人らしく暮らすことを支える「生活モデル」に移行しようとしています。このようななかで、地域包括ケアシステムの構築が進み、看護職が患者の在宅復帰に向けて多職種と連携して早期に退院できるよう支援していかなければなりません。在宅復帰を可能にするための仕組みづくりを教育や事業を通して「カタチ」に示すことができるよう会員の皆様からのご意見を頂きながら進めていく所存です。



「選ばれる在宅看護の実現！

～ 一歩踏み出そう！切れ目のないケアを目指して ～」

常任理事 大槻 解子

新年おめでとうございます。

いよいよ、本年9月14日(木)15日(金)につくば国際会議場において日本看護協会と茨城県看護協会の共催による在宅看護学会が開催されます。

在宅看護は、社会の変化や人々の多様化するニーズに対応していくために、新たな視点を持ち続け、その時代にあったケアやサービスを創造していかななくてはなりません。

これまでの現状を改善し、よりよい在宅看護の構築にむけて一歩を踏み出す必要があります。この在宅看護学会が皆様にとって、新しい知見が獲得できる在宅看護のあるべき姿が追求できるようになることを期待して、現在、粛々と開催準備を行っています。

教育研修におきましては、会員・非会員の皆様がより多くの研修を受講できるように今年度も昨年同様に地区に出向いての研修を計画しました。また、新たに地域包括ケアに関する研修や循環器看護を組み入れました。

西のつく年は商売繁盛につながると言われております。福を取り込み小まめに働き充実した1年にしたいと願っています。

今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。



「看護職へ切れ目のない支援を目標に」

常任理事 海老澤 幸子

あけましておめでとうございます

ナースセンターでは看護職の就業に関する支援を行っております

就業相談窓口を地域で身近に活用して頂けるよう、県央(水戸)以外に4か所開設しました。地域別利用者が増加するように支援の充実を図って参ります。

また、再就業を目指す方、ブランクのある方等対象に看護職のカムバックセミナーも同地区で開催し、今年も看護職の就業に向け努力して参ります。届出制度では今後も届け出をお願いするとともに、連携を密にし、切れ目のないキャリア支援を継続いたします。

健康で安全に働き続けられる職場であるために労働環境改善は必要です。近年は短時間正職員等の増加により夜勤従事者の確保等の課題も明らかになってきました。

さまざまな課題の解決に向けて、より一層労働環境改善へ取り組んでまいりる所存です。

酉年

～年男・年女あつまれ～

☆酉年生まれの方☆

集中力があり、目の前の仕事を完璧にこなし、自分のこだわりに生きるという特徴があります。

筑波大学附属病院

菊地 雅人

『新年の抱負』



今年の抱負は肉体改造！病棟を預かる者として、どんなストレスにも負けない強靱な肉体と精神を作りたいと思います。

東京医科大学
茨城医療センター

倉持 祥来

『新年の抱負』



今年で4年目を迎えます。2017年は、リーダーやプリセプターなどの目標に向かってスキルアップできるよう、時間を大切にしたい1年にしていきたいです。

筑波学園病院

高野 紀子

『新年の抱負』



看護教育に携わってきましたが、昨年4月より臨床に戻ってきました。

年女の今年は、さらなる成長と充実を目指して、羽ばたきます！

友愛記念病院

林 悠喜

『一日一生』



一日、一日を無駄にせず、仕事もプライベートも、日々成長していけるよう全力を出して行こうと思います。頑張ります。

総合守谷第一病院

結城 紀子

『新年の抱負』



今年は娘が小学生となる年。家庭と仕事の両立、忙しい毎日ですが、新年気持ち新たに充実した一年となるよう頑張りたいと思います。

鹿島病院

西村 智也樹

『心機一転のチャンス』



昨年、以前より欲しかった認定を取得し、年男というタイミング。目標達成に向けて一步一步前に進んでいきます。

■酉年の主な有名人

男性：穴戸 錠

福山 雅治

齋藤 工

星野 源

山田 涼介

女性：黒柳 徹子

増田 恵子

安 めぐみ

武井 咲

有村 架純

認知症患者の理解と看護

開催日:平成28年10月11日 場所:水戸プラザホテル 参加者:152名

本研修は、認知症看護について学び、実践に活用できることを目的に、認知症の中核症状とBPSD、不穏・せん妄について、認知症の人とのコミュニケーション、日頃困っていることへの対応等の15項目についての講義を行いました。

■受講生より認知症患者に関する対応について多くの質問がありました。

①認知症と認めたくない家族との関わりについて

- ・ どうして家族が認めたくないか理由を考えてみるのがいい。地域の特徴や偏見・周りの目もあると思うので、家族の思いを聞いていく必要がある。認知症のイメージから認めたくない方もおり、介護保険を使わない方が多いことにも数値として表れていると思う。

②認知症の方が在宅に戻るときに色々問題がある。どのように相談に応じたらよいか。

- ・ 周りの家族がサポートしてくれるか、家族内の受け入れ状況を確認する必要がある。認知症カフェというものもあり、参加者同士で励ましたり、協力したりもできる。しかし、茨城県では自治体の取り組みが遅れており、開催地域が限られてしまっている。

■門脇先生からのコメント

講習は4年前から開催しているが、看護職は認知症患者と接していて、分からないことが多く、それが仕事のストレスになっているように感じる。できれば県内の施設を回って、認知症について知ってもらうことでストレス緩和になればと考えている。研修に参加している方はやる気がある。研修参加者だけではなく、広くみんなに理解していただきたい。



■参加者の声

(動機)

- ・ 病棟に認知症や術後せん妄の患者さんが、点滴自己抜去した時に抑制に偏ってしまう。
そのため、考え方や方法を知るために参加した。
- ・ 認知症の講義に興味があったので参加した。
- ・ 継続学習のために参加した。

(感想・今後の活かし方)

- ・ 説明が分かりやすく、認知症について理解が深められた。
- ・ 知識が不足していることに気付けた。
- ・ 講義を通して、患者さんの思いを大切に、これからの看護を行って行きたいと感じた。

取材者 黒澤 渡邊

看護実務者研修-高齢者権利擁護推進研修-

開催日:平成28年10月26日、11月9日 場所:看護研修センター 受講生:96名

■研修目的

高齢者の尊厳保持の視点に立って、虐待防止などの権利擁護のための取り組みを推進するために、医療的な観点から実践的な知識・技術を習得する。

平成28年度看護協会教育計画の特徴の一つである認知症看護の充実に向けての取り組みとして看護実務者研修-高齢者権利擁護推進研修が2日間のプログラムで開催されました。研修2日目のテーマ「認知症高齢者の理解と心理」を聴講しながら取材させて頂きました。

認知症のケアでは、認知症の利用者さんの“気持ち”を理解する事が大切という言葉から講義が始まり、「老人の『今』を大切にするため本人を主演女優に、介護者は助演女優になってほしい」というメッセージが山形先生から贈られました。



講師の山形しづ子先生

■参加者の声

<受講の動機>

- ・「認知症」についての理解を深めケアに携わることが必要だと感じたから
- ・認知症のケアのポイントを学んでケアに活かせるようになりたいと思ったから
- ・上司のすすめ
- ・講義の内容に看取りやスキンケアの内容が入っていたから
- ・認知症やスキンケアの勉強をして、役立てたいから
- ・介護の人にわかりやすく教えられるようにしたいから

<参加しての感想>

- ・2日間、いろいろ勉強になってよかった。学生のとき学んだことの復習の機会にもなって良かったと思う。
- ・実際にやっていることが正しいことだと確認ができた。新しい情報もあって仕事に活かせるものが多かった。
- ・介護保険制度を学んで、自分たちがより良くケアができるようになっていたことが分かった。
- ・利用者さんの生活を支える、日頃から学んでいく事が大切であることが分かった。
- ・褥瘡の処置の方法が違っていたので、今回学んだことを持ち帰りたい。
- ・利用者さんの状態をアセスメントし、適切なケアが提供できるように介護職と連携していくことが大切だと思った。

<今後に役立てる>

- ・何度も同じことを言われるとイライラしてしまうこともあったが、認知症という“病気”という認識で利用者さんと接していきたい。
- ・職場に持ち帰り、共有することでレベルアップに繋げたい。
- ・認知症の分類の特徴に合わせた、関わりをしていきたい。
- ・利用者さんへの尊厳をもった対応を看護職から介護職に伝え、利用者さんの生活を支えていきたい。



取材者 濱野 渡邊

総合病院土浦協同病院

看護師 井坂 尚美



「酸素を使って歩いていいの？」

患者さんからの言葉で慢性呼吸器疾患看護認定看護師を目指し、2015年に資格を取得しました。対象分野はCOPD、間質性肺炎、気管支喘息など多岐にわたり、これら疾患の安定期・急性期・終末期すべてに対応しています。

呼吸器内科病棟に所属し、急性期の入院患者から慢性期の在宅酸素導入患者を中心に介入しています。また様々な疾患と併存しているためRSTを通し慢性呼吸器疾患看護認定看護師の視点で人工呼吸器管理に関わり安全管理の重要性を感じています。

COPDは喫煙・超高齢社会により著しい増加傾向であり、今後死亡数が増加すると予測されています。厚労省の『健康日本21』でCOPDの認知度向上を目指していますが、一般に認知されているとは言い難いです。階段や坂道の歩行で呼吸困難感を抱えても、年齢や体力低下と感じ受診につなげる方は少なく、入院患者の多くは病状が進行した状態であり、急性期から終末期に急激に病状を悪化させる方も多いです。全身状態が安定してから退院を迎えても入院前と同じ生活を営むことは難しいです。そのため患者と共に呼吸困難感軽減の動作を検討し、その人らしい生活を支援していくことが大切だと考え介入しています。



当協会では、今年度から

介護施設の看護職・介護職を対象とした研修事業を始めました!!

『医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等養成研修』

急速な高齢化が進む中で、今後はより医療依存度の高い高齢者が増加していくことが推測されます。当協会では、このような方々を地域で受け入れることができる受け皿（介護事業所等）を増やしていくことを目的に、介護施設で働く介護職等の養成研修をモデル事業として始めました（茨城県委託事業：医療・介護連携推進人材養成事業）。

初年度である今年度は、短期入所生活介護（ショートステイ）事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を対象に、10～12月にかけて県内の4会場（県北、県央・鹿行、県南、県西）で研修を行いました。

この研修の特徴としては、①医療依存度の高い利用者を、施設で受け入れるために必要な内容に特化している、②個人単位ではなく施設単位（各施設1人ずつ）の申し込みとし、3日間の研修の受講者は同一でなくても受講可能である、③受講生は施設の代表として聴講し、受講後は自施設で伝達研修を行うことを要件としている、という3点が挙げられます。

今年度の研修内容は、1日目は「高齢者のフィジカルアセスメント」、2日目は「高齢者の栄養、摂食・嚥下」と「急変時の対応」、3日目は「認知症ケア」と「看取り期のケア」について実施しました。講師は認定看護師等が担当し、講義と演習を組み合わせながら、医療の専門用語も含めてわかりやすく、凝縮してお伝えしました。

介護施設においては、高齢者の最も身近にいる介護職が、高齢者の小さな変化や異常に早く気づけるかどうかで、ケアの質が左右されるといっても過言ではありません。看護職は、介護職に一方的に指導・教育するのではなく、「何を見て、何に気づいてもらうか」、「何を報告してほしいのか」を具体的に伝え、ともに考えながら、スムーズに情報共有ができる関係性を作っていく必要があります。「介護」と「看護」という職種の壁をこえて連携を深める重要性を、この研修では強調して発信しました。

また、この事業においては研修事業の他、医療依存度の高い利用者へのケアのために施設で活用できるマニュアル等の作成や、施設の医療ニーズへの対応状況の情報公表などを行っていく予定です（今年度から平成30年度までの3年間）。

「高齢者のフィジカルアセスメント」
脈拍と呼吸音の触診



「高齢者の栄養、摂食・嚥下ケア」
とろみ剤の使い方、口腔ケア



「急変時の対応」
胸骨圧迫、AEDの実際



看護師のクリニカルラダー研修

あらゆる施設や場で活用可能な標準化されたラダーを用い、すべての看護師に共通する看護実践能力を育成することを目的に、看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）が開発されました。

看護師のクリニカルラダー活用のために「導入方法」、「活用方法」などを、分かりやすく講義いたします！

皆様のご参加、お待ちしております！！

- 研修名：研修№ 83 看護師のクリニカルラダー研修
- 日 時：平成 29 年 2 月 13 日（月）10：00～15：00
- 講 師：渋谷 美香 先生（公益社団法人日本看護協会看護研修学校教育研究部部長）
- 対 象：看護管理者、教育担当の任にある方、すべての看護職
- 受講料：会員 2,000 円 非会員 4,000 円

看護師の特定行為研修

看護師の特定行為について県内で研修を修了し、特定行為を手順書により実施している看護職の方を講師としてお迎えし、ご講義をいただきます。

皆様のご参加、お待ちしております！！

- 研修名：研修№ 84 看護師の特定行為研修
- 日 時：平成 29 年 3 月 14 日（火）10：00～~~15~~¹⁶：00（15：00から16：00に変更）
- 講 師：洪 愛子 先生（公益社団法人日本看護協会常任理事）
竹之内美樹 先生（J Aとりで総合医療センター外来看護師長）
木下 真里 先生（訪問看護ステーション愛美園訪問看護師）
檜村 貴之 先生（茨城県立中央病院救急看護認定看護師）
- 対 象：看護管理者、すべての看護職
- 受講料：会員 2,000 円 非会員 4,000 円

【お申込み・お問合せについて】

上記 2 研修の会場は、茨城県看護協会看護研修センター大研修室です。

参加ご希望の方は、それぞれの研修日 2 週間前までに、＜様式 1＞、＜様式 2＞に記入し、協会宛 FAX またはご郵送ください。

*研修お申込み様式、お振込み方法などは、茨城県看護協会ホームページをご参照願います。

（公社）茨城県看護協会 研修事務局

tel：029-221-6900 fax：029-226-0493

URL <http://www.ina.or.jp>

地域包括ケア推進に関する研修会案内

～訪問看護師の人材育成に関わる皆さんへ～

- 研 修 名：訪問看護人材養成研修
- 会 場：茨城県看護協会 看護研修センター
- 受 講 料：無料
- 申込方法：看護協会ホームページ＜研修からのお知らせ一覧＞に掲載の「平成 28 年度訪問看護人材育成研修のご案内」より、研修申込書をダウンロードし、ご記入の上お申し込みください

【送り先】 茨城県看護協会 訪問看護支援事業担当

〒310-0034 水戸市緑町 3-5-35 FAX:029-226-0493（送付状不要）

- 申込締切：平成 29 年 2 月 1 日（水）
- 受講に関して：テーマ 1～3 それぞれ単独での受講が可能です。
1～3 全テーマを通して受講することもできます。

1. テーマ：看護職が集まる職場環境づくり 対象：管理者、教育指導者 等

ねらい	学習内容（科目）	講師	日程
人材を育てる職場づくりのための必要な知識・技術が理解できる。	(1) 人材が定着しやすい職場環境づくり（働きやすい職場環境づくり） (2) スタッフを育てる看護マネジメント (3) 人材ビジョン 等	東京都ナースプラザ 看護師等確保対策 担当課長 栗原 良子	2/8（水） 10:00～ 16:00

2. テーマ：訪問看護ステーションにおける教育体制の構築 対象：管理者、教育指導者 等

ねらい	学習内容（科目）	講師	日程
訪問看護ステーションにおける指導体制の構築と職員研修の計画立案・実践・評価に関する知識が習得できる。	(1) 教育と評価の方法 (2) 教育体制の構築について (3) 年間教育計画の作成について (4) 訪問看護 OJT マニュアルでの指導の実際	筑波メディカルセンター病院 副看護部長 認定看護管理者 下村 千里	2/14（火） 10:00～ 16:00
自ステーションの看護職を長期的な視点で育成できる。	(1) 看護職のクリニカルラダー（訪問看護師のクリニカルラダー） (2) キャリア支援と目標管理	筑波メディカルセンター病院 退院調整看護師長 訪問看護認定看護師（元訪問看護ステーション管理者） 伊藤 章子	2/24（金） 10:00～ 12:30
研修会の学びを統合し、自施設における教育計画の今後の自己の課題を明らかにすることができる。	総合演習 「自施設における教育計画の立案」 「新入職者の教育プログラムの立案」		2/24（金） 13:15～ 16:00

3. テーマ：プリセプターのための OJT 理論と実践 対象：プリセプター、教育指導者 等

ねらい	学習内容（科目）	講師	日程
人材育成における OJT の理論の知識と技術を習得できる。	(1) プリセプターの役割 (2) コーチング (3) アサーティブネス (4) ほめ方、叱り方 (5) 対応に悩む相手へのアプローチ (6) ストレスマネジメント・メンタルサポート	東京都ナースプラザ 看護師等確保対策 担当課長 栗原 良子	3/6（月） 10:00～ 16:00

平成29年度改選役員、推薦委員及び 平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員への 立候補について

選挙管理委員長 川上 智美

平成 29 年 6 月 22 日（木）に開催される通常総会（会場：県立県民文化センター）で、平成 29 年度改選役員、推薦委員及び平成 30 年度日本看護協会代議員・予備代議員選挙を執行しますので、「立候補」と「推薦」についてお知らせいたします。

■改選役員と役職数

- 1 役員 10 人（任期 2 年）
会長候補者 1 人、副会長候補者 1 人、常任理事候補者 1 人、職能担当理事 1 人（保健師）、地区担当理事 5 人（常陸太田・ひたちなか地区、土浦地区、つくば地区、筑西・下妻地区、古河・坂東地区）、准看護師理事 1 人
- 2 推薦委員 9 人（任期 1 年）
- 3 平成 30 年度日本看護協会代議員 7 人、予備代議員 7 人
（任期：平成 30 年 4 月 1 日から 1 年間）

■受付の方法

立候補される方は、本会会員 5 人以上の推薦を受けて、立候補届出書及び立候補推薦届を選挙管理委員長あてに届け出て下さい。

※立候補届出用紙等は、本会ホームページからダウンロードするか、茨城県看護協会事務局に申し出て下さい。Tel 029-221-6900

■宛先 〒310-0034 水戸市緑町 3-5-35

公益社団法人茨城県看護協会 選挙管理委員長（親展）あて

■受付期間

平成 29 年 2 月 1 日（水）～ 2 月 15 日（水）必着

郵送の場合は当日消印有効



平成28年度理事会報告

■第5回 12月16日(金)

【協議事項】

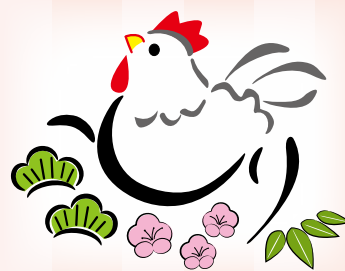
- 1 平成29年度重点政策・重点事業(案)について ※継続協議
- 2 事業報告(7月~9月) 承認
- 3 上期監査報告 承認
- 4 予算執行状況について 承認
- 5 平成29年度見込み会員数(案)について 承認
- 6 寄附金取扱規程の制定(案)について 承認
- 7 認定看護管理者教育課程細則の改正(案)について 承認
- 8 職員再雇用規程の改正(案)について 承認
- 9 平成29年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦(案)について 承認
- 10 平成29年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦(案)について 承認

【報告事項】

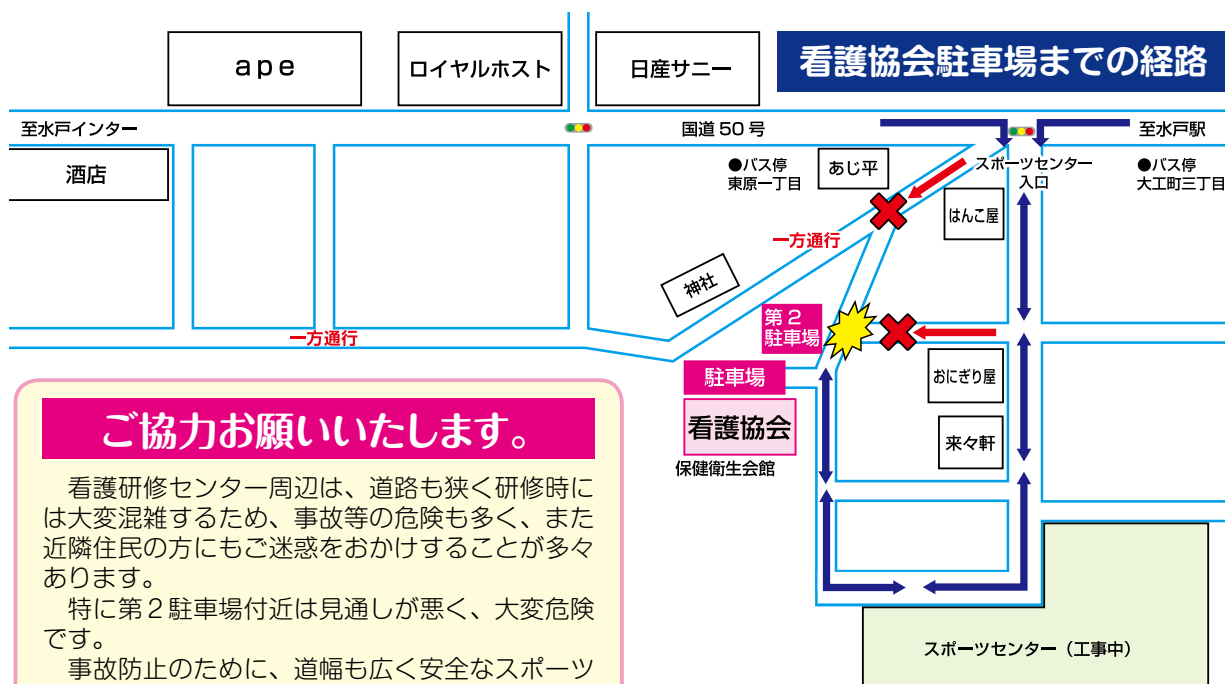
- 1 日本看護協会平成28年度第5回理事会報告
- 2 日本看護協会地区別法人委員会・職能委員長会報告
- 3 平成29年度茨城県優良看護職員表彰について
- 4 第53回いばらき看護の祭典について
- 5 平成29年新年の集いについて

■看護いばらき
No.116予告

- 平成29年度教育研修計画
- 糖尿病看護研修
ー基礎知識とフットケアー
- 茨城県看護研究学会
など



看護研修センターに来館される皆様へ



ご協力お願いいたします。

看護研修センター周辺は、道路も狭く研修時には大変混雑するため、事故等の危険も多く、また近隣住民の方にもご迷惑をおかけすることが多々あります。

特に第2駐車場付近は見通しが悪く、大変危険です。

事故防止のために、道幅も広く安全なスポーツセンター前を通りお帰りいただけますよう、ご協力をお願いいたします。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。今年は酉年。酉はくちばしで地面のエサをついばむように几帳面で細かな所に目が行き、トサカはアンテナのように情報収集し、先見の目があるそうです。

酉年にちなんで、皆さんもどんどん羽ばたき、良い年になることをお祈りしています。

広報委員一同